

## 北方領土返還要求後継者キャラバン事業報告

8月22日(金)から25日(月)までの4日間、本年度は宮城県仙台市にてキャラバン隊活動を実施しました。初日は、例年通り札幌市で開催された「北方領土返還要求北海道・東北国民大会」において白崎賢哉隊員から決意表明を行い、一路、仙台市へと向かいました。

仙台市では、JR仙台駅に隣接する商業ビルにて北方領土写真展及び啓発ポスター展を開催し、併せてタブレットを活用した北方領土に関するクイズを行いました。

今回の特徴としては、会場の都合で署名活動を行うことができませんでしたが、例年以上に多くの一般客を呼び込む工夫がなされたところであり、そのひとつが、青連協各支部が自前で用意した地元特産品を多数持ち寄り、クイズに参加していただいた方に配布したことが挙げられます。また、もうひとつの集客の大きな力となったのは、北方領土のマスコットキャラクター「エリカちゃん」です。この効果は絶大で、お子さん連れの家族をはじめ多くの方々が笑顔を見せながらパネル展会場に来ていただき、啓発リーフレットを手渡しすることができました。気温32℃の中、エリカちゃんに扮するのは過酷な作業でしたが、多くの隊員が交代で着用し、予想以上の啓発効果を上げることができました。

啓発活動の第一歩は、まずは見てもらうこと、そして知ってもらうことです。その意味では、より多くの方々に対して啓発することができたと実感いたしました。

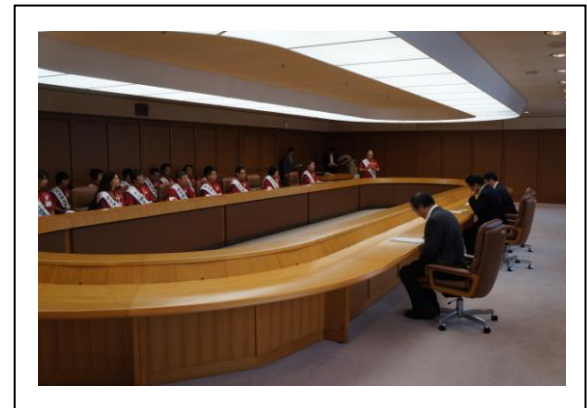
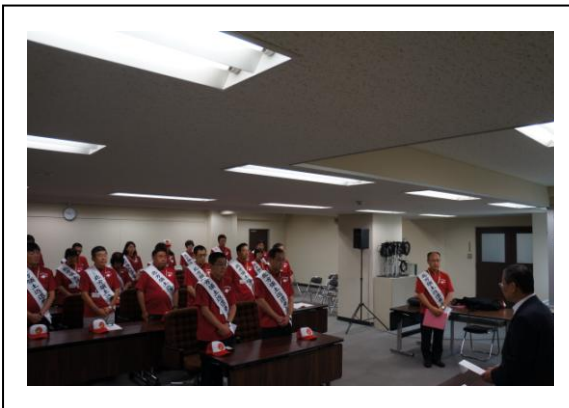
最終日は、仙台市役所と宮城県庁に表敬訪問をし、市役所では黒澤哲也隊員が、宮城県庁では坂上範夫隊員が千島連盟理事長のメッセージを読み上げました。

宮城県は全国で一番早く北方領土返還要求都道府県民会議が発足したほど返還運動に熱心な地域であり、村井知事・藤本副市長から私たちキャラバン隊へ熱い激励の言葉をいただき、隊員一同、これからの返還運動に向けて大いなる勇気をいただきました。

北方領土返還要求北海道・東北国民大会での決意表明



表敬訪問(左:仙台市、右:宮城県庁)



北方領土のパネル展等街頭啓発



